



議会だより

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458

議会事務局 TEL0470-55-4804

第125号



だいじょうぶだよ！
小学校に行っても
みんな一緒だよ！

はやわかい

- 議員発議案・条例改正・・・2
- 一般質問 4議員が町政を問う・・・5
- 予算審査特別委員会・・・10
- 町民の声・・・12

知っていますか

議会の傍聴はどなたでもできます。

次の定例議会は6月です。

傍聴手続きは、当日議場受付で住所・氏名・年齢を書くだけです。日程は、防災行政無線や町のホームページ（6月上旬）でお知らせします。

発行／鋸南町議会

編集／議会広報特別委員会

議員発議で議員報酬削減を継続

〈県内54市町村で鋸南町議会のみ実施〉

議員発議案

3月定例議会を3月6日から16日の11日間の会期で開催した。町長提出議案は、条例関係10件、契約関係2件、平成29年度補正予算6件、平成30年度当初予算6件。また最終日に追加議案として、契約に関する追認2件が追加され合計26件を審議した。また、議員発議案については、議員の報酬年額の特例に関する条例の一部改正、地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書の2議案が提出され、全28議案全てを全員賛成で可決した。

一般質問は、鈴木・三国・渡邊・笹生(正)の4議員が質問席に立った。

◎議会の議員の報酬年額の特例に関する条例の一部改正

◎地域高規格道路「館山・鴨川道路」の早期実現を求める意見書

町財政は税収入や地方交付税の伸びが期待できない状況にあり、実質公債費比率(収入に対する借金返済費の割合)は、年々改善されてはいるものの、財政力指数は依然として、厳しい水準にある。そのため、昨年に引き続き、議員報酬の5%削減を1年延長するもの。

安房地域、特に外房地域においては、茂原・館山間を結ぶ地域高規格道路計画はあつるものの、事業化が見送られている。

国道127号富津館山道路と未接続となっている現状は、袋小路からの脱却を阻害するもので、観光シーズンにおいては、慢性的な渋滞を招いている。地域間交通の利便性を向上させるために、地域高規格道路の整備が必要不可欠であるため、道路予算確保など国・県へ要望するもの。

主な条例改正

町3役・管理職

給料削減を継続

課長及び室長など管理職職員の給料を引き続き1%削減。

また、町長の給料を30%、副町長・教育長の給料20%も引き続き削減される。

バーベキューハウス

佐久間小学校

3月末に完成

旧佐久間小学校の特別教室棟跡地に、バーベキュー

場として整備する施設の設置及び管理条例の制定で、施設は、町民の交流及び都市と農村の交流を促進し、地域活性化のために整備、利用される。

＜利用料金＞

小学生以上1人3時間につき
300円

バーベキュー用具一式
レンタル料2,000円

子ども医療費支給条例の一部改正

通院における所得制限を廃止



現在、町は子どもの医療費に対する保護者への助成を、入院に係る医療費については、乳幼児から中学3年生までの間、所得制限を設けず助成している。一方、通院にあたっては、小学校4年生から中学校3年生までの間、所得制限を設けていた。

条例改正により、通院に關しても所得制限を廃止することで、通院の医療費に係る助成を拡大するもの。

通院の医療費に係る

保護者への助成を拡大

水道水源保護条例に

罰則を強化

町営水道の水源の枯渇や水質汚染を防止することを目的に、水道水源保護条例が制定された。

町の勧告・命令に従わない事業者に対し、氏名などを公表するもので、昨年10月から施行された。

今回の主な改正内容は、罰則規定を追加したことで、町の中止命令に従わない事業社に対して、1年以下の懲役、または50万円以下の罰金が課せられることとした。

一定期間、周知を図る目的で、施行期日は、平成30年6月1日とした。

消防団体制確保のための 年齢要件改められる

人員確保が難しくなっている消防団員について、団長は特に必要があると認められる場合においては、あらかじめ町長の承認を得て、年齢満55歳を超えるものであっても、団員として経験のあるものを、その他の団員として任命することができることとした。



その他の改正

- 鋸南町国民健康保険条例の一部改正
- 鋸南町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 鋸南町介護保険条例の一部改正

動産売買契約の締結について（2件）

〈循環バス2台更新〉 契約金額 2,447万2,800円

〈スクールバス1台更新〉 契約金額 1,462万3,200円

平成29年度
最終
補正予算

一般会計補正後の総額

43億4,528万2千円

一般会計については、歳

入歳出額を389万7千円減額し、補正後の総額を43億4,528万2千円とし、原案を全員賛成で可決した。

最終の補正予算であり、各費目にわたり過不足を補正した他、歳出では、地域おこし協力隊が10月からの委嘱となったことから、委託料等311万6千円を減額。豊かな町づくり寄付金は決算を見込んで177万3千円を増額。町債は、旧佐久間小学校整備事業費、老人福祉センター改修事業費や補助金等の確定に伴い1,080万円を減額した。また、財政調整基金を4,858万9千円増額したことから、決算額は12億792万5千円となる予定。

補正予算の
主な質疑

◎一般会計

問 自主防災組織等補助金実績が今年度1団体で、240万円の減額補正をしている。現在、何団体組織され、補助金の制度はいつまであるのか。

答 今年度1団体が組織化され合計8団体となりました。県の補助金は、平成27年度から31年度までの5年間です。

問 基本的には立ち上げるのが目的ではなく、自主防災組織が各区で活動することが大切。行政として強制ではないが雰囲気づくりを望む。



自主防災組織での活動状況（両向地区）

答 自主防災組織の活動について、組織の立ち上げを年度始めの行政委員会でお願いをする予定です。



◎介護保険特別会計

問 居宅介護・地域密着型介護サービス給付費を合わせて800万円強の増額補正をしている。在宅介護は、家族も大変な苦勞を伴う、その実態はどのようなになっているのか。

答 居宅介護サービスは要介護1～5の方の入浴サービス等で、地域密着型介護サービスは認知症の方等の利用です。家庭の中で介護ができない結果、介護サービスを受ける方の増加が要因と考えています。

各会計における補正の状況

会計名	補正額	補正後の総額
国保会計	△6,217万8千円	14億6,691万3千円
後期会計	△340万円	1億2,245万5千円
介護会計	875万7千円	13億1,332万7千円
病院会計	207万9千円	8,998万1千円
水道会計	109万円	4億7,338万6千円

※病院・水道会計については、収益的支出の額

ここが聞きたい いっぱん質問



鈴木 辰也 議員
・高齢者福祉について
・観光施策について



三国 幸次 議員
・働き方改革について



渡邊 信廣 議員
・旧佐久間小エリアの
将来構想について



笹生 正己 議員
・道の駅の現状と今後について
・持ち主不明の土地・里山について

4議員が町政を問う

町のホームページで
議会のライブ中継も
やっているよ



一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長
に対し質問や提案を行うものです。
紙面の都合上概要を掲載しています。



問 「緊急通報装置設置」利用者の立場に立った説明を

答 正確な情報の周知を図っていきます

質問 町の施策として行われている、緊急通報装置の設置について、今現在、町では3社の事業者と提携しこの事業を行っているがどのような事業か。

答弁 当町では、平成25年5月1日から、緊急通報装置を設置することにより、日常生活上の不安解消や急病等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図り、福祉の増進に資することを目的に事業を実施しています。

この事業は、当町に住所を有する65歳以上の1人暮らしの世帯、重度身体障害者のみの世帯、その他これに準ずる世帯を対象に、緊急通報装置を設置しますが、町が3事業者に委託をし、その設置費用全額を町が負担していま

す。ただし設置後の緊急通報装置の保守及び使用料については、利用者に負担をお願いしています。

質問 町が緊急通報装置設置の申請者に対して説明時に使う資料「鋸南町の暮らしの便利帳」には、3社とも月額表示がされている。しかし、1社については、契約が年契約で中途解約をした場合でも一年分の料金を支払わなければならない。月額表示されているのは正しい表示ではないと思うが。

答弁 警備会社方式については、中途解約できない年契約となるので、記載箇所の訂正を行うとともに周知を図っていきます。

質問 今後、月契約が出来るのかどうか、業者と協議して

ほしい。町長は常々、役場は役に立つ場所でなくてはならないと言ってきた。もう少し利用者の立場に寄り添って施策を進めてほしい。

答弁 事業者に中途解約が出来るように要望します。

質問 外国人が次に目指す「ディーブジャパン」15選の記事にて鋸山が紹介され、和歌山県高野町「高野山奥の院」に次いで、鋸山が第2位となっている。これからますます海外からの来訪者が増えるのではないかと期待される。そこで、登山客をいかに鋸南町へ誘導したらいいのか、今後はどのような施策を考えているのか。

答弁 新しい試みとして、インターネット上、例えば 구글マップ上に施設情報を

登録し、利用者がスマホを利用して回遊しやすい環境を整備するなど、回遊のきっかけを作っていきます。





問 役場職員の働き方改革の現状は

答 毎週水曜日をノー残業デー

質問 日本で過労死が叫ばれるようになって40年も経過するが、悲劇は繰り返され、悪化し続けている。長時間労働は、働く人の身体と心の健康を傷つけるとともに、家族や子育て、地域社会など日本社会の健全な発展にも大きな妨げになっている。最近では、医師や教師の長時間労働などがマスコミで取り上げられて問題となっているが、役場職員の働き方についての現状と業務改善についての取り組みはどうか。

答弁 時間外勤務の状況ですが、平成28年度は、本庁・出先機関等を合わせた全体で、災害対応を除き年間3,384時間、月平均282時間となっています。1人

あたり、月平均5時間となります。一方で時間外勤務が際立って多い職員が、ある程度存在していることも把握しています。改善策としては、以前より毎週水曜日をノー残業デーと位置付け実施してきましたが、昨年度、さらに意識を高め徹底するよう指示を出し、管理職員による声かけを実施し早期退庁を促す取り組みを続けています。

質問 時間外勤務が際立って多い職員がいるとのことだが、もう少し詳しい、具体的な状況はどうか。

答弁 平成28年度の状況ですが、消防防災担当で月平均10時間、企画の担当で月平均14時間、商工観光担当で月平均14時間、有害鳥獣

担当で月平均7時間、土木災害担当で月平均7時間、水道工務係で月平均3時間となっています。全般的に各課で言えることですが、年度当初、また年度末には、補助金の申請・実績報告、また当初予算編成等の時期には残業での対応をせざるを得ない状況もあり、時間を外労働が増加します。他には、税務住民課の税務収納室における確定申告時期、地域振興課の夏の海水浴場開設シーズン、また冬から春にかけての花観光のシーズン、こういった時には、どうしても時間外勤務が増えているという状況はあります。また、突発的な部分も含め、特徴的なものとしては、昨年10月にあります

た衆議院議員の解散総選挙。また同時期に大型台風の襲来による災害の発生、などでの時間外勤務もあります。**要望** 職員の健康や家族、町のためにも前向きな取り組みを全ての部署で行って欲しい。



7時間45分の勤務時間は守られてはいるが・・・



問 旧佐久間小エリアの将来構想を明確に

答 重く受け止め検討します。

質問 旧佐久間小の将来計画について2回程要望して

きたが、未だ将来計画が示されないまま、特別教室棟跡地にバーベキューハウスや隣接する老人センターでは家族風呂の建設が進んでいる。本来、将来計画をしっかり定め計画的に事業を実施することが、まちづくりの基本であると思う。旧佐久間小エリアの全体計画を早急に策定すべきと思うが、先ず近年、地震や異常気象による災害が多い中、広域避難場所である体育館の耐震対策について伺う。

質問 体育館は避難所及び

多目的施設として方向性を検討するとの事だが、管理棟・教室棟は屋根の補修のみで、プールも含め、今後どのようにするのか。

答弁 この施設は自衛隊以外の活用は決まっていますのでプールも含め、地域のワークショップ等により時間をかけ検討します。

質問 最終的に、佐久間小エリアの計画をどのようにするのか、これが一番重要なことだと思ふ。

答弁 先程の答弁で、「笑楽の湯も含めたエリアを検討していく必要がある」との答弁であったが、先ずお聞きしたい佐久間ダムは無論、旧佐久間小も笑楽の湯も佐久間地区の拠点だと思ふがい

かがか。

答弁 町にとって活性化の拠点と認識しております。

質問 だとすれば早急に旧佐久間小エリアの全体計画を地域の方はもちろん、専門家を交え実施すべきだと思ふ。計画が出来ていれば、財政の厳しい当町にとって、有利な補助事業等、効果的・効果的に活用出来ると思ふ。早急な取組みについて伺う。

答弁 31年度で実施出来ればと思っております。

質問 この計画は数年前から要望して来た。過疎計画でも30年度150万円、旧佐久間小活用計画策定として計上されている。近年、様々な計画策定が実施されているが、何を差し置いて



旧佐久間小学校上空から

も旧佐久間小エリアの計画策定が核を作る上で重要であり、佐久間地区の活性化の一番有効な手段だと思ふ。再度30年度の計画策定についていかがか。

答弁 重く受け止め検討します。

議員 正己 笹生



問 正確な観光情報の提供を

答 分かりやすい情報提供に努めます。

質問 鋸南町には、二つの道の駅がある。町長が「同じことを継続しては、長く続かない。」と言っていたが、現状と、今後についての考えを伺う。

答弁 「保田小学校」は、廃校を活用した道の駅としてメディア等で紹介され順調なスタートを切ることができました。今後は宿泊の稼働率をあげるため、体験を組み込んだプランの開発を検討中です。

また、今後の展望として、周辺農地の活用等を関係者と協議していきます。

質問 「保田小」は車が多い。曜日によりお客の集中する傾向は変わらず駐車場が狭いと感じる。一部2階建てにとの意見もあるが、

答弁 迷惑をかけるケースもあるが、2階建ての駐車場は考えていません。

質問 道の駅のパンフレットには、誤った記載がいくつか見受けられた。観光客は迷惑していると思うが。

答弁 チェック体制が不十分であったことは反省しています。今後、分かりやすい情報の提供に努めていきます。

質問 今年度建てた看板の外国語表記に間違いがあると、町民からの指摘があった。直すのには負担が発生するが誰が負担するのか。

答弁 全部で6枚あり、町が原稿を作成し、業者に指示をしたので、修繕についても町の予算で対応させていただきます。

す。

質問 全国では所有者が解らなくなっている可能性がある。ある土地の総面積が九州より広い410万ヘクタールに達すると公表された。町内にもこのような土地は存在し、森林の荒廃や土地取り引きの停滞など、弊害が指摘されている。また、近くの山でさえ荒廃している現状をどのように思っているのか聞かせてほしい。

答弁 このような土地は、日本各地で災害復旧・地籍調査・区画整理といった様々な公共事業のコスト増や処理時間の延長など、また、民間でも管理上大きな障害となつていきます。問題は時の経過に従い拡大し、将来のマイナス要因となり

ます。身近に感じることがなく、気付いたらすでに対応が困難になるという性格を有している課題と、認識しています。

意見 近い将来、取り返しがつかないことにならないように、皆で考えていかなければならない。



指摘のあった看板

特別委員会

調和のとれた政策と町民力で

よりよい環境・心豊かな町

限られた財源を有効に活かして

平成30年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（笹生正己委員長）を設置し、審査を行い、すべての予算を全員賛成で可決すべきものと決定した。一般会計については、歳入総額は37億3,362万2千円で前年度比8・2%、3億3,430万9千円の減となった。

新年度で予定している主な事業は、空き家等を活用した企業誘致支援業務委託300万円、子ども医療費助成事業1,592万6千円、有害鳥獣対策協議会委託事業1,069万5千円、住宅リフォーム補助事業300万円、道路長寿命化修繕事業7,300万円、防災行政無線デジタル化事業8,577万7千円、第2分団消防ポンプ自動車購入事業2,168万4千円、鋸南小学校教育用パソコン更新事業1,480万4千円など。

一般会計予算の主な質疑

議会事務局関係

要望 他の市町村議会では議会の生中継に加えて、録画でも審議の様子を視聴できるのが一般的になっている。当議会においても新たな財政負担が発生しないのであれば、録画視聴の導入を検討してもらいたい。



総務企画課関係

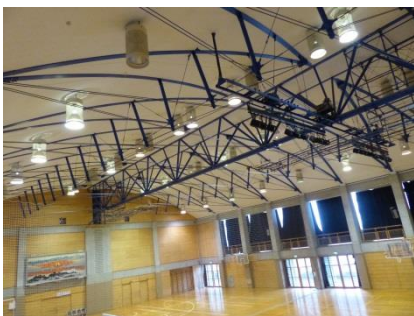
問 過去何年間にもわたり

行財政改革を進めてきたが、平成30年度当初予算においては、行財政改革を更に推進するために継続的、あるいは新規に実施される施策、また見直し廃止されたものがあるか。

答 光熱水費等の需用費関係を要求に対して8千万円の削減、特別職・管理職の給与などで638万1千円など。また数値には表れませんが、道路橋梁補修工事・

水産物供給基盤機能保全事業等の実施により、施設の長寿命化を図ると共に、中学校体育館照明のLED化などにより、将来的な光熱水費の削減を図りました。

要望 町民にも改革内容を分かり易く情報提供して欲しい。



LED化を待つ鋸南中体育館

問 町総合計画では、自主防災組織のカバー率を80%に目標設定しているが、現在のカバー率は。また組織の立ち上げのために町が行っている施策は。

答 県内平均カバー率は28年4月1日時点で60・2%ですが、現在、町では8団体、52・7%となっています。これまで行政委員会等を通じて、依頼してきましたが、今後は既存の組織と関わりながら、更に組織化が進むように努めます。

問 地域おこし協力隊の活動は、地域との関わりが重要であると考えますが、各種団体の会合などで紹介する考えは。

答 住民には4月から町報の紹介コーナーにより活動内容等を掲載紹介していく予定です。また、新聞等で報道されているので、今後も情報提供に努めます。



予算審査

一般会計対前年度比 8.2%減額

当初予算 37億3362万2千円

〈平成30年度普通会計当初予算〉

一般会計	37億3,362万2千円
国民健康保険特別会計	11億9,490万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,252万9千円
介護保健特別会計	12億2,784万7千円

問 循環バスの時刻改正が12月に行われたが利用者増につながったか。

答 JRの発着時刻に併せて改正したもので、今後も県の公共交通関連事業と併せて、多くの方に利用してもらえらるよう検討していきます。
要望 現在1日5便の運行であるので、増便の検討を願う。

保健福祉課関係

問 介護施設などにおける職員の人員不足を補うための人材確保に資する予算はあるのか。

答 介護職員資格取得費助成金として、初任者研修5名分、介護福祉士取得研修5名分、計10名分の予算を計上しました。

地域振興課関係

問 新規就農者支援事業補助金が、減額されているが、その内容は。

答 3名分の研修費15万円を計上しました。

要望 新規就農者には、財政支援以外の面でも要望があるように聞いている。意見を十分聞いた上で、予算に反映して欲しい。

問 鱧ヶ浦の松の根元の土が波に洗われて、枯れる懸念があるが、この対策を考えているか。

答 松は国有地にありますが、国では特に対策を考えて

いないとのことなので、保護のため県農林関係部局とも相談の上、策を講じなければと考えています。

要望 是非とも保護してもらいたい。



鱧ヶ浦の松

建設水道課関係

問 平成29年度、2,500万円計上された道路維持補修工事は、行政区からの道路や排水補修要望が多い中、1,500万円に減額された理由は。

答 平成29年度は、2カ所の排水工事と道路補修工事1カ所を予定していたことから、特に1千万円を上乗せしました。区から多くの要望がありますが、緊急性や

用地問題等の精査を行い順次、実施していきます。

要望 高齢化が進み要望も多いので、できれば工事請負費を増やして、生活道路の整備を進めてもらいたい。

教育課関係

問 地域ボランティアへの報償費が増となった理由と放課後子ども教室の利用状況は。

答 放課後子ども教室を充実させるために増額しました。利用状況は週1回を目安に、木・土曜日に23回開催しました。参加者は平日約80名程度、土曜日は20名程度で、延べ1,300名となっております。



放課後子ども教室

町民の声

地域おこし協力隊員



かえ
花澤 華衣さん

栃木県高根沢町生まれ、足利市育ち。1度就職後、21歳で単身インドへ。4年の修行でヨガを習得。カナダでの結婚を機に帰国し出産。新たな挑戦を求め、昨年10月に2歳の息子と鋸南町に移住。仕事の都合で夫とは暫時、遠距離夫婦中。

私、寒いのがダメなんです。職探しするなら暖かい所!! 沖縄は遠いし、両親の実家から近くとなると、千葉の南の方。で、鋸南の地域おこし協力隊に応募しました。電車で来る途中、君津を過ぎると、空の色がとにかく濃くて澄んでいて、東京とは全然違うんで、住みたいなあって即決。

移住定住促進を任されているので、町外向けには町の認知度を上げるためのPR。町内へは移住者の受け皿の創出。ヨガインストラクターの経験も役立てられれば……

子育て世代でもあるので、おもちゃ病院、子供服交換会なんかはどうかかと考えています。今年1月に中央公民館に子育て広場ができたので、常設の子供服交換コーナーの開設めざし奮闘中です。町外から来たお嫁さんだって元々は移住者みたいなものでしょ!!コミュニティの輪を広げたい。お母さんやプレママのため、1日も早く実現できるように、ご支援をお願いします。

議会の日誌

2月20日 議員全員協議会
議員総会

2月26日 議会運営委員会

3月6日～16日
第1回議会定例会

3月8日 議員全員協議会
産業常任委員会協議会

3月9日 予算審査特別委員会

3月16日 議員全員協議会

3月26日 議会広報特別委員会

編集後記

平成30年第1回定例議会が3月16日に閉会しました。議会については、防災行政無線等により周知をしておりますが、傍聴される方はまだまだ少ないように思います。

議会だよりは、議会の活動を町民の皆様知って頂く唯一の紙面です。広報委員会では、少しでも多くの皆様に読んで頂きたく、町民目線による表紙の工夫や、議会だよりを翌月発行とする他、前回からは町民の声の協力を頂き実施をしております。更に新年度の議会だよりから、新たに頁を増やし一般質問については、1人当たり半頁を1頁とし、内容を少し具体的にしました。議会は町民の代弁者です。関心を持って頂ければ幸いです。

小さくとも、キラリと光るまちを目指して。

渡邊

「町民の声」募集!

皆様のご意見を募集します。
顔写真・お名前・ご意見を
議会だよりに掲載します!
議会事務局まで連絡をお願いします。
☎0470-55-4804